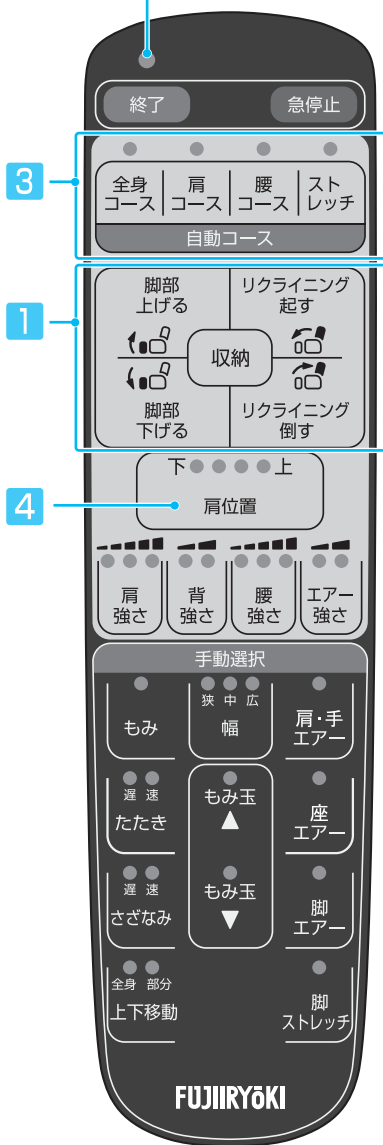


カンタン操作ガイド

主電源ランプ



- 主電源ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、本体の主電源を入れてください。
- 枕を後ろに回して、お座りください。

自動コース

1 背部と脚部をお好みの位置に合わせてください。

脚部：を押すと脚部が上がります。

を押すと脚部が下がります。

背部：を押すと背もたれ部が起き上がります。

を押すと背もたれ部が倒れ、脚部が上がります。

2 脚部右側の脚部反転レバーを引いて回転させ、お好みの状態(脚もみ、フットレスト)でお使いください。

3 からお好みのコースを選択してください。

※選択した自動コースのランプが点灯します。

4 自動コースを押すともみ玉が肩位置を自動的に検知します。検知した肩位置は、を押すと変更できます。



自動コースの種類

- 全身のコリや疲れをやわらげるコースです。
- 肩・背部のコリや疲れをやわらげるコースです。
- 腰のコリや疲れをやわらげるコースです。
- ストレッチ動作を中心としたマッサージコースです。

自動コース動作中の調節

肩位置を調節したいとき

- 肩位置** でお好みの肩位置に調節します。
● 肩位置は、7段階から選択できます。

肩の強さを調節したいとき

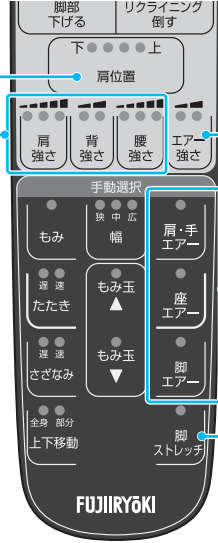
- 肩強さ** でお好みの強さに調節します。
● 肩強さは、5段階から選択できます。

背の強さを調節したいとき

- 背強さ** でお好みの強さに調節します。
● 背強さは、2段階から選択できます。

腰の強さを調節したいとき

- 腰強さ** でお好みの強さに調節します。
● 腰強さは、5段階から選択できます。



エア強さを調節したいとき

- エア強さ** でお好みの強さに調節します。
● エア強さは、2段階から選択できます。
※ エアの強さ調節は部位ごとに調節はできません。

肩・手、座、脚エアーを「入/切」したいとき

- 肩・手 エアー** **座 エアー** **脚 エアー** を押します。
● それぞれボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
※ 脚ストレッチが「入」の状態では脚エアーを「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。

脚ストレッチをしたいとき

- 脚 ストレッチ** を押します。
● ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
※ 脚ストレッチが「入」の状態では脚エアーを「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。

強さのランプ

強さ	ランプの点灯	
	5段階 (肩・腰)	2段階 (背・エア)
弱 ↑ 2 3 4 ↓ 5 強	1	○ ● ○ ●
	2	○ ○ ● ●
	3	● ○ ○ ●
	4	● ○ ○ ○
	5	● ● ○ ○

ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意



警告

- 次の人は使用しない。(身体に異常が起こる場合があります)
 - 医師からマッサージを禁じられている人。
(例: 血栓(そく)栓(せん)症、重度の動脈(どうみゃく)りゅう(りゅう)、急性(きゅうせい)静脈(じやうみゃく)りゅう(りゅう)、各種(くわんしゆ)皮膚炎(ひふえん)および皮膚感染症(ひふかんとせんしやう)(皮下組織(ひかそしゆ)の炎症(えんしやう)を含む)など)
- 次の人は、使用前に医師に相談してください。
 - ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型(たい体内ちゅうかみけい)医用電気機器(いようでんきき)を使用している人
 - 悪性(あくせい)しゅよう(腫瘍(しゆりやう))のある人 ● 心臓(しんざう)に障害(しやうがい)のある人 ● 妊娠(ごんしん)中、または出産(しゅたん)直後(ちかご)の人
 - 糖尿病(とうりやうびん)などによる高度(こうた)な末梢(もくせう)循環(じゆんかん)障害(しやうがい)による知覚(ちかく)障害(しやうがい)のある人
 - 皮膚(ひふ)に創傷(そうじやう)のある人 ● 安静(あんせい)を必要(ひつやう)とする人
 - 体温(たいおん)38℃以上(ゆうねつ)の人
(例: 急性(きゅうせい)炎症(えんしやう)症状(しやうじやう) [けん(けん) 倦(けん)] 急感(きゅうかん)、悪寒(あくかん)、血圧(けつあつ)変動(へんどう)など] の強い時期(きじ)、衰弱(じやくじやく)しているとき)
 - 骨粗(こつそ)しょう(鬆(しょう) 症(しやう))の人、せきつい(脊(せき) 椎(すい)) の骨折(こつこせ)をしている人、捻挫(ねんそく)、肉離(にくり)れなどの急性(きゅうせい) [とう(とう) 疼(てい) 痛(とう) 性(せい)] 疾患(きしん)の人
 - 背骨(せいこつ) (脊椎(せきつい)) に異常(いじやう)のある人、または背骨(せいこつ)が左右(さゆう)に曲(まが)っている人 ● 椎間板(すいかんばん)ヘルニア(へるに)ア症(しやう)の人
 - その他、身体(しんたい)に特に異常(いじやう)を感じ(かん)じているときや、医療(いりやう)機関(きかん)で治療(ちりやう)中(ちゆう)の人
- リクライニングするときや脚部(きゃくぶ)を動か(うご)かすときは、必ず(かならず)周囲(しゅうい) (本体(ほんたい)の後部(ごご)、前部(ぜんぶ)、側部(さわぶ)、下部(しもぶ)など)に人やペット、物(もの)がないことを確認(かくにん)する。
- 使用前(しゆじぜん)には、必ず(かならず)背(せ)パッド(パッド)を上げて背もたれ(せもたれ)部のカバー(カバー)が破(やぶ)れていないか確認(かくにん)する。また、その他の部分(ぶぶん)にも破(やぶ)れがないか確認(かくにん)する。(どんなに小さな破(やぶ)れでも直(ただ)ちに使用(しゆじ)を中止(ちゆうし)し、電源(でんげん)プラグ(ぷらぐ)を抜き、修理(しゆり)を依頼(いんぱん)してください。)
- 首(くび)周辺(しゅうしゅうべん)をマッサージするとき、もみ玉(もみたま)の動き(うご)きに注意(ちゆうい)する。また、首(くび)の前(まへ)方や過度(かど)に強い(こゝろ)マッサージ(マッサージ)はしない。
- お子(こ)様(さま)やご自分(ごじぶん)で意思(いし)表示(ひょうし)できない人(ひと)には使用(しゆじ)させない。また、幼児(ごうに)を近づ(か)げない。
- お子(こ)様(さま)を椅子(いす)の上(うへ)で遊(あそ)ばせたり、上(うへ)に乗(の)らせない。
- 絶対(ぜったい)に改造(かいぞう)しない。また、ご自分(ごじぶん)で分解(ぶんかい)、修理(しゆり)をしない。
- 動か(うご)かなくなったり異常(いじやう)がある場合はすぐ(すぐ)に電源(でんげん)プラグ(ぷらぐ)を抜(ぬ)いて、ご購入(こひん)先(せん)または当社(たうし)のお客(きやく)様(さま)相談(さうだん)窓口(まうち)に点検(てんけん)・修理(しゆり)を依頼(いんぱん)する。